

# 北上市地域教育力向上基本計画

平成26年 3 月  
北上市教育委員会

## 目 次

I	基本計画の策定にあたって	
1	趣旨	2
2	基本計画の位置づけ	2
3	計画期間	2
II	地域教育力向上の重要性	
1	地域教育力とは	3
(1)	地域教育力の定義	3
(2)	地域教育力の考え方	3
2	子どもたちを取り巻く現状	4
(1)	核家族化、一人世帯の増加、少子化による影響	4
(2)	子どもたちの生活習慣とコミュニケーションの状況	6
3	地域教育力向上の必要性	11
III	地域と子どもたちの目指す姿	
1	子どもたちの目指す姿	11
2	地域全体の目指す姿	11
3	地域の大人が心がけること	11
IV	地域教育力向上の系統図	13
V	地域教育力向上の基本方針	
1	5者の役割の実践	14
(1)	子どもの役割	14
(2)	家庭の役割	15
(3)	学校の役割	17
(4)	地域の役割	19
(5)	行政の役割	21
2	子どもたちの成長につながる活動の継続と共有	23
VI	北上市全体に広がる取り組みに向けて	
1	行動計画の策定	25
2	推進体制	25

資 料 編

## I 基本計画の策定にあたって

### 1 趣旨

近年、全国的に核家族化や一人世帯化、少子化等が進み、地域における地縁的なつながりや他人との関わりが希薄化してきており、子どもの教育、成長を支えている家庭や地域全体の教育力の低下が危惧されています。

北上市では、家庭や地域の教育力について、これまでも青少年健全育成会や交流センターにおける生涯学習事業及び学校支援活動など、さまざまな分野において取り組みを行い、あいさつ運動や登下校の見守り活動などが展開されてきました。その継続した活動により、一定の成果をあげてきています。

さらに、子どもたちが調和のとれた社会人として成長するためには、学校教育だけでなく、家庭や地域社会の中で生活習慣や規範意識を身につけ、何事にも意欲的に取り組んでいけるよう、家庭や地域全体で子どもたちを育てていくことが必要とされています。

そのために、子どもと家庭、学校、地域、行政の5者が果たすべき役割や目標を明らかにし、地域のさまざまな資源（人材、施設、自然環境、地域行事等）を生かした取り組みを行いながら、子どもたちが自ら学び続け、社会変化に対応できる力を育む環境を地域全体でつくることが重要です。

このことから「**地域教育力向上**」を市の重要課題として位置づけ、**地域教育力向上基本計画**を策定するものです。

「地域教育力向上」の取り組みは、大人自身の交流や学習の場ともなり、教育分野のみならず、地域づくりやまちづくりに貢献し、地域の活性化にもつながることが期待されます。

### 2 基本計画の位置づけ

本基本計画は、北上市の地域教育力向上を図るための基本的な方針や施策を示すことにより、子どもと家庭、学校、地域、行政の役割分担を明確にして、地域の教育課題に取り組むとともに、上位計画である「北上市教育振興基本計画」の基本目標である「郷土を愛し 未来を拓き いのち輝く 人づくり」を目指すものです。また、行動計画を策定するための方針として位置づけるものです。

### 3 計画期間

計画期間は、北上市教育振興基本計画に合わせ平成26年度から平成32年度までの7カ年とします。なお、毎年度の推進状況を踏まえ、必要に応じ見直しを行います。

## II 地域教育力向上の重要性

### 1 地域教育力とは

#### (1) 地域教育力の定義

北上市においては「地域教育力」を「地域の人材、施設、自然環境、地域行事等を生かしながら地域社会全体で子どもたちの学ぶ力を育てていく力」と捉えます。

また、教育力について考える場合の地域は北上市全域としての範囲と、子どもたちを対象とする活動の範囲としての地域（小学校区、中学校区、行政区、16地区交流センター等）があると捉えます。

## 北上市の地域教育力

地域の人材、施設、自然環境、地域行事等を生かしながら

地域社会全体で子どもたちの学ぶ力を育てていく力

#### (2) 地域教育力の考え方

子どもを取り巻く環境が大きく変化している時代の中で子どもたちは、多様な交流や活動を通して学ぶ喜びを感じつつ、人間関係や集団のルール、規範意識、社会性、道徳などを身につけ、これからの社会をたくましく生きるために必要な力である「学ぶ力」を養うことが重要です。

このため、子どもたちは地域社会の中で、大人たちや年齢、性別の垣根を越えた交流を通し、さまざまな生活体験、社会体験、自然体験や失敗体験なども豊富に積み重ねていくことが必要と考えます。

この基本計画では、「学ぶ力」を「学び続ける力」と捉え、子どもたちが心豊かに地域の担い手として成長していくよう、地域と家庭、学校、行政が、それぞれの果たす役割を認識し、地域の人材、施設、自然環境、地域行事等を生かし、地域社会全体で子どもたちの学ぶ力を育んでいこうとするものです。

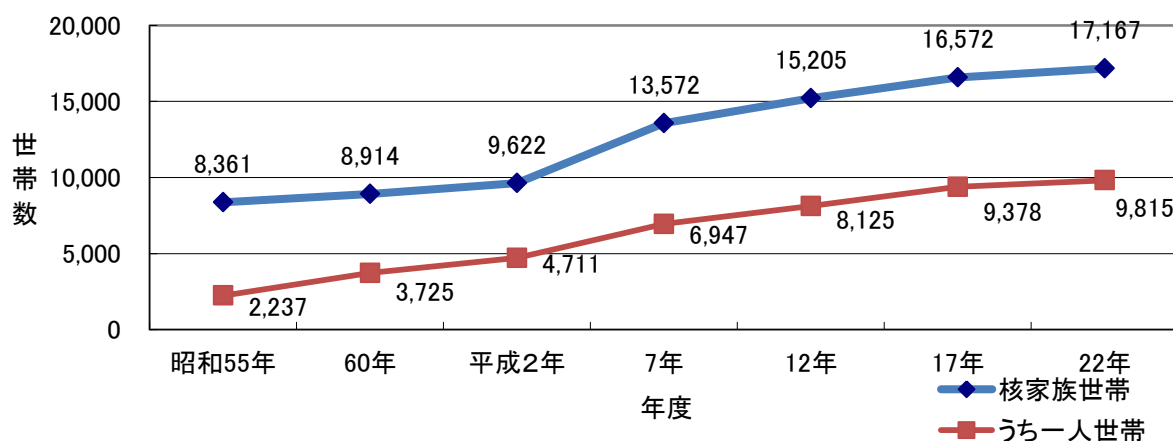
## 2 子どもたちを取り巻く現状

### (1) 核家族化、一人世帯の増加、少子化による影響

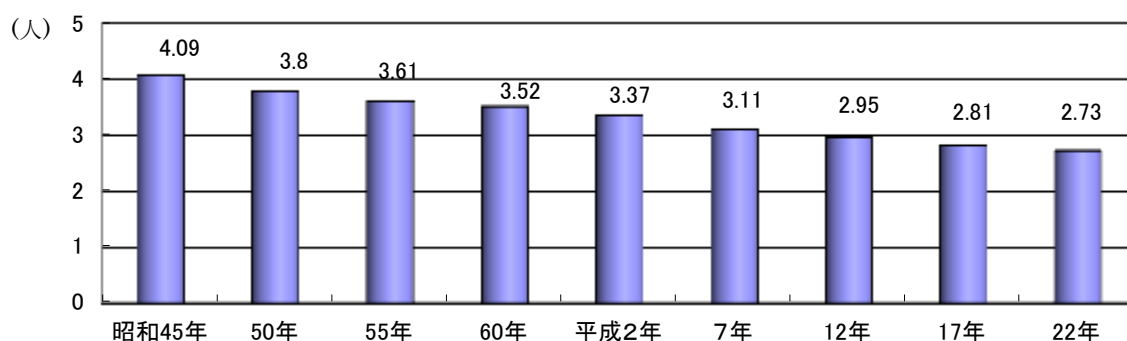
近年、全国的に大家族世帯が減少し、核家族化が進行しています。北上市でも核家族世帯、一人世帯が増加傾向にあり、一世帯当たりの世帯人員が減少しています。

三世代同居などの大家族世帯が多かった時代は、子どもが放課後に家に帰ると、家族の誰かがいることが多く、安心して過ごすことができました。しかし、現在は核家族化や保護者の就労などにより、学校から家に帰った時に家族がいない子どもが多くなっています。

#### ○ 市内核家族世帯、一人世帯の推移



#### ○ 市内一世帯当たりの世帯人員の推移



資料：国勢調査報告

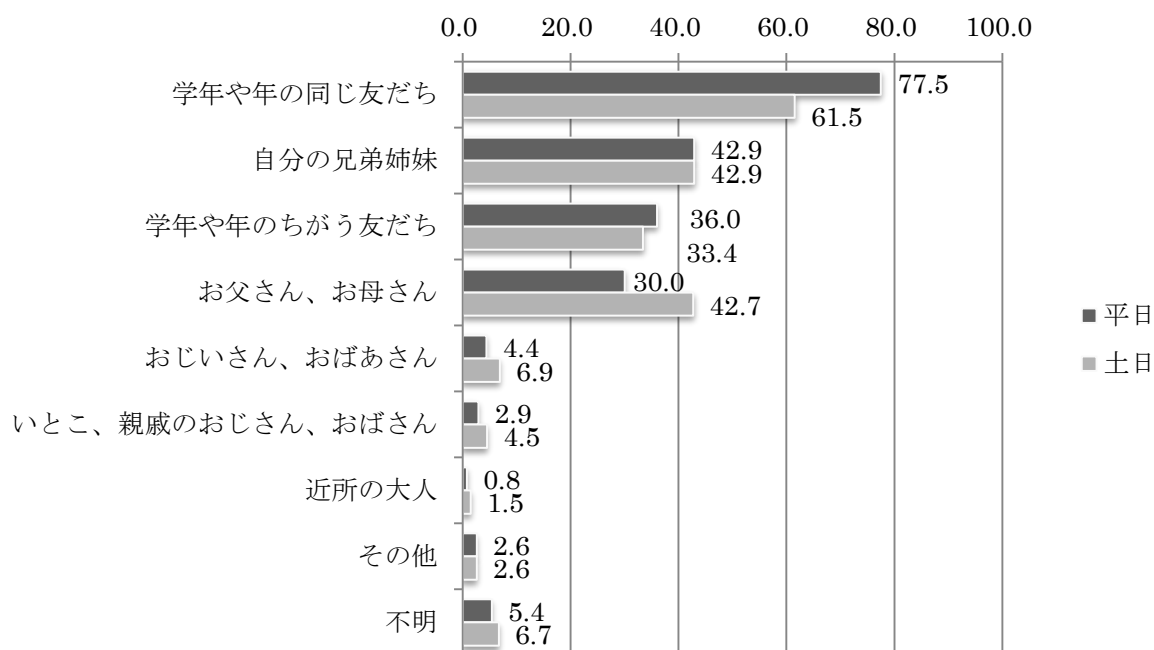
さらに、地域は子どもたちにとって、年齢の垣根を越え、友人と自由に遊び、活動できる場であり、その中でさまざまな体験をする場でもあります。しかし、少子化等の影響もあり、意図的な取り組みがないと、子どもたちが集

まりにくくなっているのが現状です。

文部科学省が平成17年に実施した「地域教育力に関する実態調査」の結果でも、学年が異なる友人との交流は少なく、兄弟姉妹や学校関係以外の年齢の垣根を越えた友人との交流が乏しいことが伺えます。

○ 放課後や土曜日・日曜日に、子どもと一緒に過ごす相手（複数回答）

(%)



資料：文部科学省「地域教育力に関する実態調査」（平成17年実施）

このような中、国は平成19年度から「放課後子ども教室推進事業」を創設しました。これは、地域ボランティアの協力のもと、放課後や週末等に学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを実施するものです。

本市でも「放課後子ども教室」を3地区で開設し(平成25年度現在)、計画的に地域住民が子どもたちを見守り、安全・安心な居場所づくりに取り組んでいます。子どもたちは、地域の大人に見守られながら学年の異なる友人と勉強や遊びだけでなく、宿泊体験や農業体験などさまざまな体験活動をしています。しかし、子どもたちを見守る地域の大人の人材確保という課題があります。

また、保護者が共働き等により、家庭で安心して放課後を過ごすことができない児童のために、保護者で組織する父母会や地域の代表者からなる運営委員会により学童保育所が運営され、児童の放課後の生活の場を確保しています。現在、北上市では17の学童保育所が設置され、小学1～3年生で791人（全1～3学年児童数の約30.1%）、小学4～6年生で293人（全4～6学年児童数の10.1%）の子どもたちが放課後を学童保育所で過ごしています（平成25年5

月1日現在)。

(2) 子どもたちの生活習慣とコミュニケーションの状況

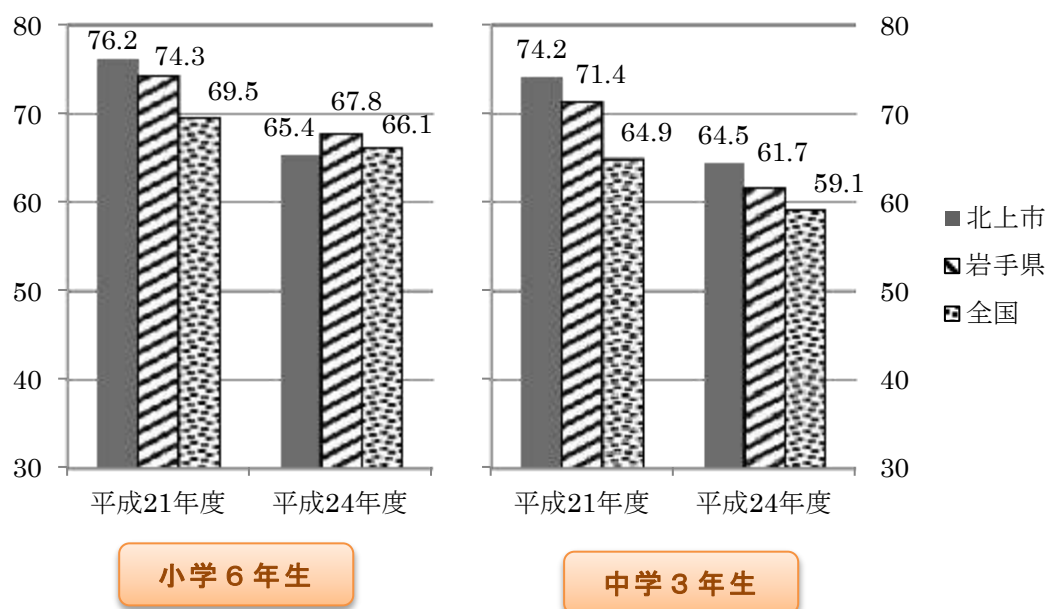
① 生活習慣

子どもたちが健やかに成長していくためには、基本的な生活習慣を身につけることが大切です。全国的に子どもたちの基本的な生活習慣が乱れてきていると言われおり「早寝早起き朝ごはん」などの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上につながる運動が全国的に展開されています。

全国学力・学習状況調査の結果による本市の状況は、小学生・中学生ともに食事や十分な睡眠は取れているものの、中学生になるとテレビやゲーム、携帯電話等の時間が多くなり、学校の授業以外に勉強をする割合が少ないことが分かります。特に、学校の授業以外に1時間以上勉強する中学生の割合は、小学生よりも少ないことが分かります。

ただし、平成21年度と24年度を比較すると改善傾向にあり、「まなびフェスト(※)」など各学校で家庭学習の強化に取り組んでいる成果が表れていると考えられます。

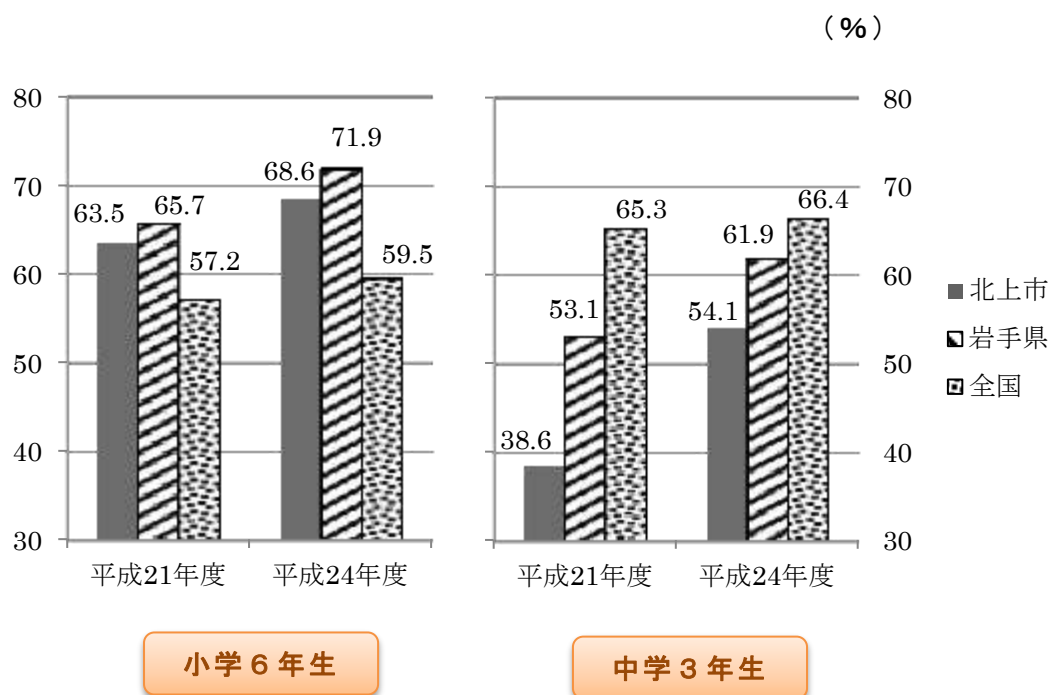
○ 普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(2時間以上見たり、聞いたりする割合)(%)



資料：全国学力・学習状況調査(平成21、24年度調査)

※ まなびフェスト… 児童生徒の発達段階を踏まえ、各学校、学級において最低限どのようなことを身につけさせるかを設定したもの(数値目標が設定されたもの及び取り組み過程が重視されたものが併用されている)

- 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上勉強している割合）



資料：全国学力・学習状況調査（平成21、24年度調査）

② 家庭でのコミュニケーション

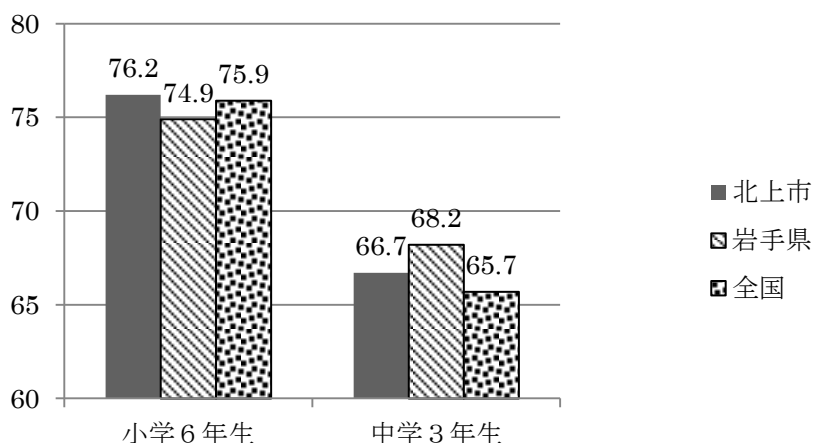
会話は大切な家族相互理解の手段であり、大切なコミュニケーションです。家庭で会話を交わすことで子どもは家族と愛情によりつながり、人に対する基本的な信頼感や倫理観、自立心などを身につけていくことができます。

全国学力・学習状況調査（平成24年度調査）の結果から家庭での会話の状況をみると、「家の人と学校での出来事について話をしている」小学6年生の割合は、76.2%であるのに対して、中学生の割合は66.7%となっています。年齢が上がるにつれて、塾通いや部活動などの時間的制約の一因もあり、家庭での会話が減っていくと考えられます。

また、家族との通信手段として、携帯電話を利用する子どももいます。携帯電話を利用することで、インターネットにつながる機会が増え、情報が得られやすいという利点があります。その一方で、インターネット上には子どもにとって有害な情報が多いこと、インターネットを介した子どもを巻き込む事件や犯罪などが全国的に起きていることから、情報を活用する際に必要な判断力を養うなど、家庭内においても情報モラルについて話し合うことが必要です。



○ 家の人と学校での出来事について話をしていますか(よくする・する割合)  
(%)



資料：全国学力・学習状況調査（平成24年度）

○ 携帯電話、インターネットに関する調査

学年	携帯電話(またはスマートフォン)の所持率			家庭でのインターネット接続状況 (ゲーム機のネット環境も含む)		
	市内平均	学校ごとの所持率		市内平均	学校ごとの接続状況	
		最も低い率	最も高い率		最も低い率	最も高い率
市内小学6年生	19.7%	0.0%	38.7%	69.8%	46.2%	100.0%
市内中学3年生	32.9%	26.0%	51.1%	53.4%	37.1%	72.0%

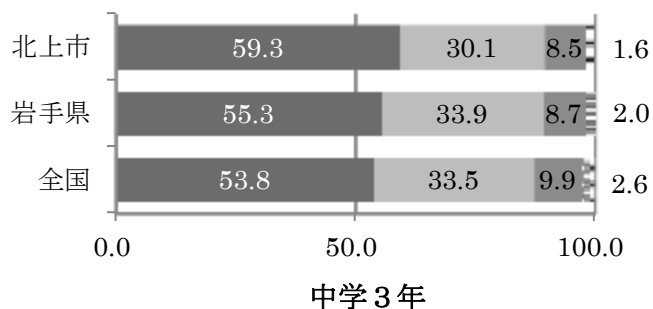
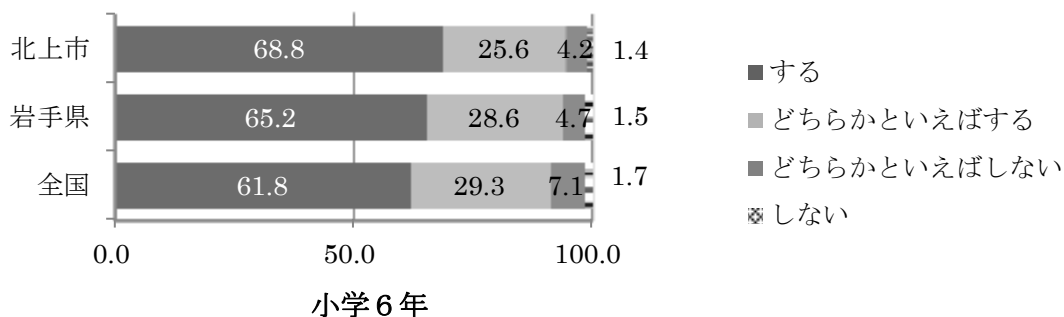
資料：平成25年8月 市教育部学校教育課調べ

③ 地域でのコミュニケーション

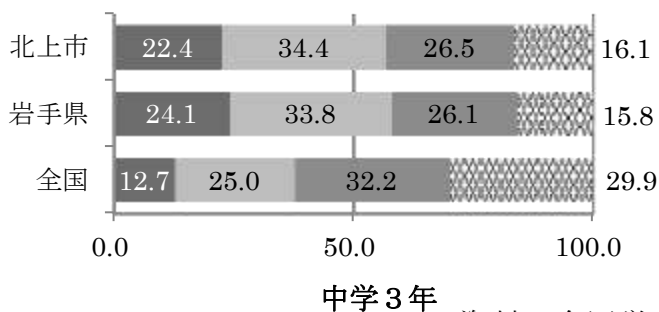
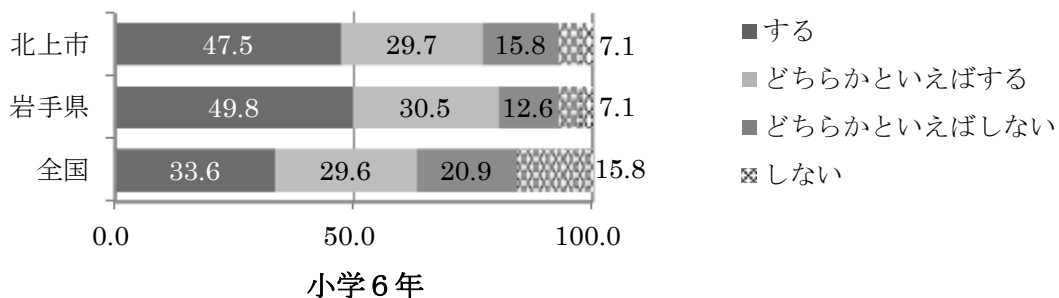
全国学力・学習状況調査から、本市の状況をみると、「近所の人とあいさつをする」「どちらかといえばする」子どもの割合は小学6年生で94.4%（全国91.1%）、中学3年生で89.4%（全国87.3%）と、ほとんどの子どもたちが地域の人たちとあいさつを交わしていることが分かります。

また、本市では子ども会活動等で行う清掃作業や、学校の総合学習時に地域住民の支援による農業体験等、地域に関わる意図的な取り組みが行われています。前述の調査における市内の結果をみても、「今住んでいる地域の行事に参加する」「どちらかといえば参加する」子どもの割合は小学6年生で77.2%（全国63.2%）、中学3年生で56.8%（全国37.7%）と全国に比べて高い割合となっています。

○ 近所の人に出会ったときは、あいさつをしていますか（％）



○ 今住んでいる地域の行事に参加していますか（％）



資料：全国学力・学習状況調査（平成24年度）

地域とのつながりが少ないといわれる若い世代の大人も、自分の子どもの小学校入学をきっかけに、PTAとして地域の行事や活動に参加する傾向にあります。このように、子どもを介して、地域を意識し、子どもの活動を通して、人と人とのつながりが増えることは、地域づくり・まちづくりを推進するために、重要な役割を果たすものと考えられます。

④ 地域の施設の活用

地域には、自治公民館や16地区の交流センターなどさまざまな施設があります。

自治公民館では、小正月行事など季節行事を通して世代間交流などが行われています。交流センターでは、子どもを対象とした少年少女学級や、高齢者大学をはじめとした、大人を対象とした健康づくりや地域の歴史に関する多様な講座が開かれ、地域住民の大切な学びの場となっています。これらの施設は地域住民の交流の場としても活用されています。

市立図書館や博物館などは、地域の歴史や自然など後世に継承すべき専門的な資料があり、生涯を通じて自ら学習し、知識を高めることができる大切な場であることから、さらに利用を促進する必要があります。

図書館蔵書冊数

区 分	総 計	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 工学
中央図書館	252,595	4,505	4,660	12,778	13,595	8,235	12,521
江釣子図書館	25,441	340	345	1,257	1,129	662	1,941
和賀図書館	28,180	377	378	1,412	1,552	716	1,840
計	306,216	5,222	5,383	15,447	16,276	9,613	16,302

6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	児童	学習漫画	郷土資料	洋書	映像	雑誌
5,294	12,877	2,234	57,891	77,074	904	29,721	453	3,719	6,134
547	1,047	230	7,376	9,671	416		1	39	440
744	1,041	244	8,370	10,372	123		1	66	944
6,585	14,965	2,708	73,637	97,117	1,443	29,721	455	3,824	7,518

資料 中央図書館 (平成24年4月1日現在 単位：冊)

博物館の資料数

区 分	資 料 数				
	自然科学	考古	歴史	民俗	その他
博物館	36,420	1,111	1,170	6,088	749

資料 博物館 (平成23年度 単位：件)

### 3 地域教育力向上の必要性

全国学力学習状況調査から北上市の状況を見ると、全国と比べ地域とのつながりが強いことが分かりました。これは、世代間の交流や交通安全への取り組み、郷土芸能の伝承等の地域に根差したさまざまな活動の成果であると考えられます。

家庭や地域の教育力の低下が危惧される中で、現在取り組まれている地域に根差した活動の成果を生かし、さらに地域の教育力の向上に結び付けていくためには、これまでの個々の活動を検証し、その成果を互いに共有することで、地域の活動をより深め連携させていくことが必要です。

また、子どもたちが人格を磨き、豊かな人生を送るとともに、これからの変化の激しい社会をたくましく生きていくためには、「子どもたちの目指す姿」や、それを支えるための地域や大人の役割を地域社会全体で共有し、子どもたちの学びを育んでいくことが必要です。

## Ⅲ 地域と子どもたちの目指す姿

地域社会全体で共有する姿として「子どもたちの目指す姿」と「地域全体の目指す姿」、「地域の大人が心がけること」を図1のとおり整理しました。

子どもたちの目指す姿は、地域全体の目指す姿と、地域の大人が心がけることによって支えられていると考えられます。

### 1 子どもたちの目指す姿

子どもたちの目指す姿は、地域で育てたい子どもたちの心や力であり、自己の人格を磨き、地域社会を担い、豊かな人生を送るうえで、また、これからの変化の激しい社会を生き抜くうえで必要とされる心や力であり、子どもたちの学ぶ力を高めることで育まれる姿を示しています。

この育てたい子どもたちの心や力は、生命や人権を尊重する「命を大切にする心」、規範の尊重や他者との良好な関係を構築するための「人と関わる力」、生まれ育った郷土の歴史、風土、文化などに対する愛着と誇りを持つ「故郷を愛する心」、豊かな情操や感性を磨く「感動する心」、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、たくましい意思や自立心を養う「自分の未来を切り拓く力」の5つとしました。

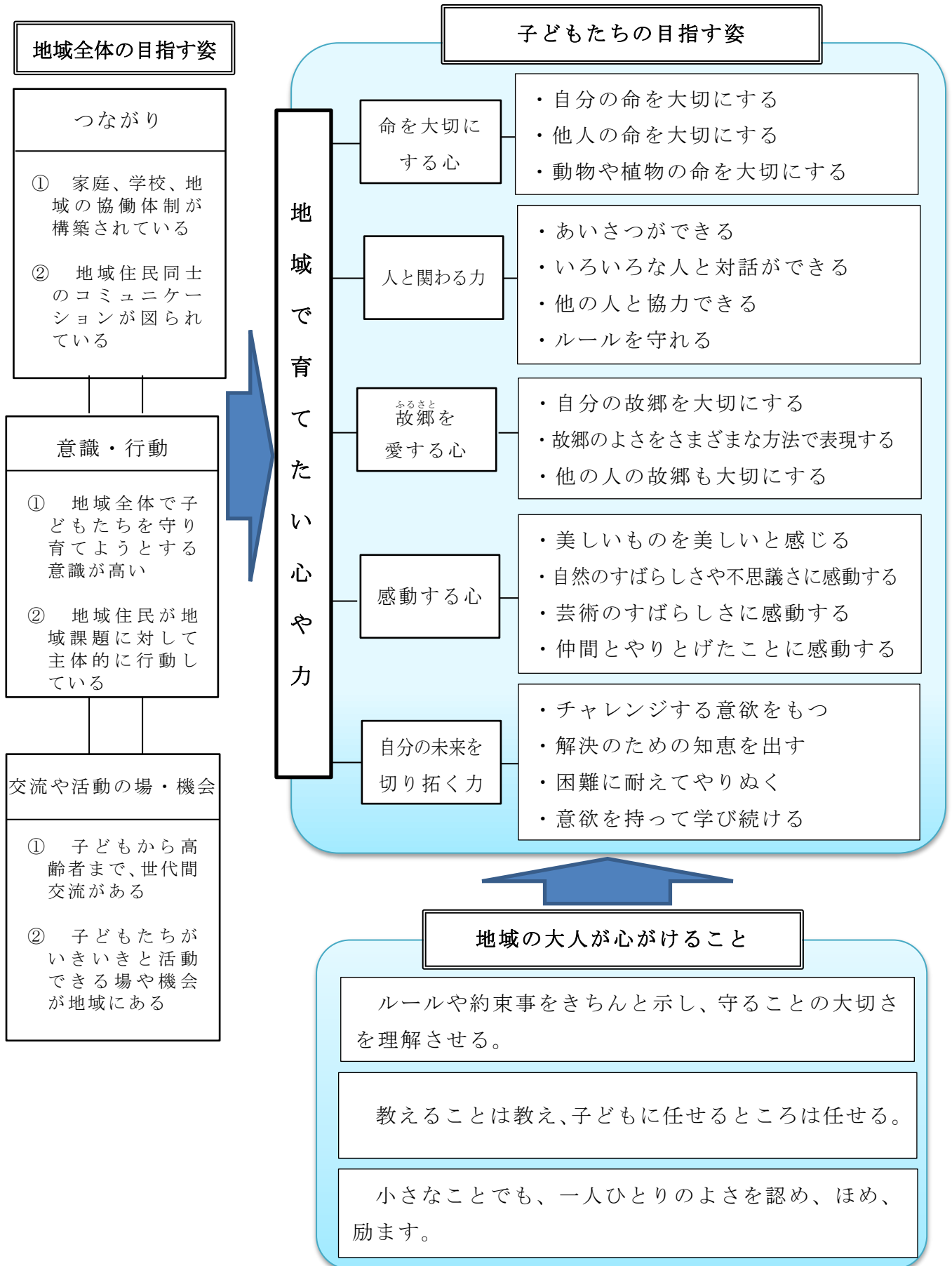
### 2 地域全体の目指す姿

地域のコミュニケーションが図られ住民同士が支え合う「つながり」や、地域全体で子どもたちを守り育てる主体的な「意識・行動」、子どもたちがいきいきと活動できる「交流や活動の場、機会」を重視しています。

### 3 地域の大人が心がけること

大人が子どもと接するとき心がけることは、ルールを守ることの大切さを理解させることや、きちんと教えること、子どもに任せること、一人ひとりの良さを認めることなどです。

図 1

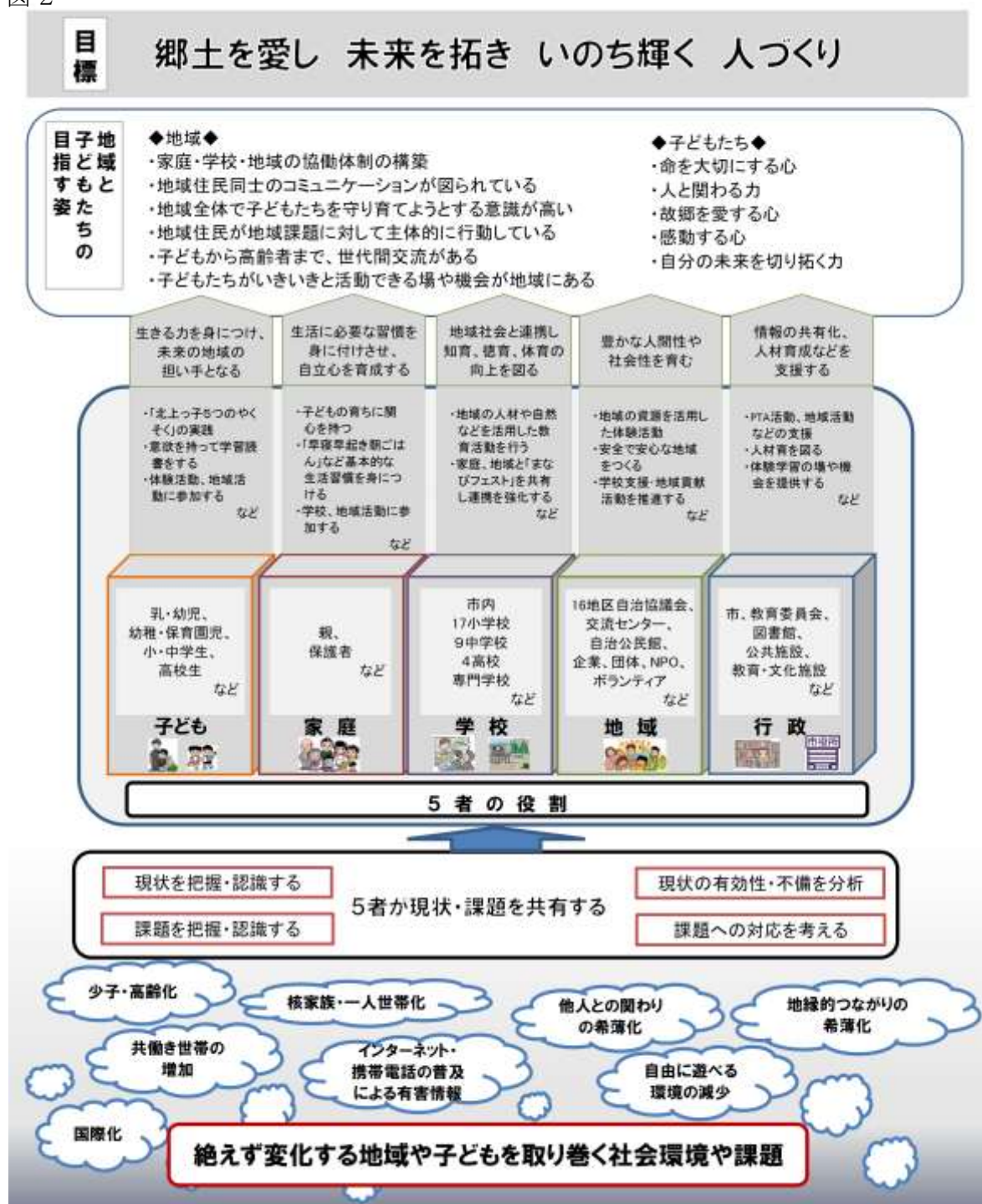


#### IV 地域教育力向上の系統図

地域教育力向上の取り組みは、子ども、家庭、学校、地域及び行政の5者が、子どもたちを取り巻く現状や課題、そして子どもたちの目指すべき姿を共有し、それぞれの役割を実践することで、地域の教育力を向上させ、子どもたちが学ぶ力を高め、自らの未来を切り拓くたくましい人生を送ることを目指しています。

図2、は地域教育力の向上により、北上市教育振興基本計画の基本目標である人づくりに至る系統図を示しています。

図2



## V 地域教育力向上の基本方針

### 1 5者の役割の実践

地域教育力向上においては、子ども、家庭、学校、地域及び行政の5者がそれぞれの役割を果たすことが重要です。地域教育力の向上に向け、5者の担う役割の基本的な考え方や、基本的な施策、子どもたちの目指す姿のためにそれぞれの主体が実践できる事例を示します。

#### (1) 子どもの役割

(基本的な考え方)

学力の向上と心身ともに健康であることに加え少子高齢社会の到来、雇用形態の変化や価値観・生活様式の多様化、情報化の進展など、さまざまな社会変化に対応していくための生きる力を身につけ、未来の地域の担い手となるよう学び続けることが重要です。

- 広い知識、豊かな心、健やかな体を養います
  - ・ 心と体を鍛え、他人を思いやる心を持ちます。
  - ・ 意欲をもって学習します。
  - ・ 「北上っ子5つのやくそく（16ページ参照）」を実践します。
  - ・ 読書をします。
- 地域を大切にし地域行事に参加します
  - ・ さまざまな体験活動に参加し経験を積む中で、学ぶことの楽しさを知ります。
  - ・ 地域の文化や歴史を学び理解を深めます。
  - ・ 地域の奉仕活動に積極的に参加するなど地域に貢献することで、地域や地域の人たちを大切にします。

#### 子どもたちの目指す姿

「命を大切にする心」

「人と関わる力」

ふるさと  
「故郷を愛する心」

「感動する心」

「自分の未来を切り拓く力」

## (2) 家庭の役割

### (基本的な考え方)

子どもの健やかな成長のため、家庭の果たす役割は大切です。家庭では地域社会とともに生活に必要な習慣を身に付けさせ、自立心を育成し心身の調和のとれた人間形成を図ることが重要です。

- 「子どもの育ち」について関心を持ちます
  - ・ 学校や地域で行われる家庭教育に関する研修会や講演会に参加し、大人へと成長する「子どもの育ち」について理解を深めます。
  - ・ 子どもの心や体の変化に関心を持ち、安心できる環境を整えます。
  
- 基本的な生活習慣を身につけさせます
  - ・ 「早寝早起き朝ごはん」を実践し、よく体を動かし、よく食べ、よく眠るという基本的な生活習慣を保護者も一緒に身につけ、規則正しい生活リズムをつくります。
  - ・ 「北上っ子5つのやくそく」を実践し、家庭の中で役割分担をし、手伝いをさせたり、何事にも諦めずチャレンジさせたりするなど自立心を養います。
  - ・ 家庭での会話を大切にし、子どもの安心感や信頼感を高めます。
  
- 学校や地域との連携を図ります
  - ・ 家庭、学校、地域をつなぐPTA活動に積極的に参加します。
  - ・ 学校の方針を理解し目標を共有していくため、学校行事に積極的に参加します。
  - ・ 信頼感を持ち、教師と良好な関係を保てるよう、教育実践方針や学級の様子に関心を持ちます。
  - ・ 保護者が手本となり率先して地域活動に参加するなど、住民との交流を深めます。
  - ・ 地域のために頑張っている大人の姿を評価し、その意義を子どもに伝えます。
  
- 地域の施設を利用します
  - ・ 子どもと一緒に図書館や博物館などの教育施設を利用するなど一緒に学びます。



## 子どもたちの目指す姿のために家庭ができることの事例

### 命を大切に作る心

子どもを抱きしめたり、子どもが目標に向かっていく姿を認め、評価し、子どもが「自分はかけがえのない大切な存在だ」と思う心を持たせるとともに「同じように、他の人も大切な存在である」ことを教える。

### 人と関わる力

保護者が手本となり、家庭や地域であいさつを交わす。地域の活動や行事、学校行事に保護者も積極的に参加する。

### 故郷を愛する心

地域行事や地域の自然や歴史などについて学ぶ講座、郷土芸能の伝承活動に参加するよう促す。地域の活動や行事への参加等を通じて、保護者が知っている地域の歴史や自然などを子どもに伝える。

### 感動する心

家族で芸術や文化、スポーツ、自然などにふれる機会をつくり、その体験から感じたことなど家族で会話を交わす。

### 自分の未来を切り拓く力

子どもが暮らしのさまざまな場面で困難に直面したとき、適切に見守り励ましながらチャレンジしていく意欲を育てていく。

さまざまなボランティア活動やスポーツ・芸術活動に積極的に参加する。

## 北上っ子 5つのやくそくを守ります！

- 1 自分から 明るく 笑顔であいさつをします
- 2 すなおな気持ちで「ありがとう」  
「ごめんなさい」を言います
- 3 家族の一員として 進んでお手伝いをします
- 4 物を大切にして 整理せいとんをします
- 5 目標に向かって ねばり強く チャレンジします



北上市教育委員会では、平成22年1月、子どもたちに身につけさせたい生活習慣を「北上っ子5つのやくそく」として決めました。

子どもたちが健やかに成長し、心豊かな社会生活を営むことを願い、親子や地域全体での取り組みを推進します。

### (3) 学校の役割

#### (基本的な考え方)

子どもに知識や技能を教えるとともに、その背景にある物事の本質を考えさせ、子どもの発達段階に応じた体系的かつ組織的な教育を行い、地域社会と連携し知育・徳育・体育の向上を図ることが重要です。

- 地域の人材や施設、自然環境、地域行事などを活用し、知育・徳育・体育の向上に努めます
  - ・ スポーツ、郷土芸能、農業などの地域ボランティアの協力による教育活動を行います。
  - ・ 地域の自然観察や職場訪問など、地域の自然や施設を生かした教育活動を行います。
  
- 家庭と地域との連携を強化します
  - ・ 児童生徒の発達段階を踏まえ、各学校、学級において最低限どのようなことを身につけさせるかを設定した「まなびフェスト（6ページ参照）」を作成し、学校経営計画や達成目標を家庭と地域で共有します。
  - ・ 地域行事への参加を奨励するなど、地域行事の意義を理解し、地域との連携に努めます。

#### 子どもたちの目指す姿のために学校ができることの事例

##### 命を大切にする心

自他の命の大切さを理解し「自分を傷つけない」「他人を傷つけない」という心の教育を充実させる。

##### 人と関わる力

コミュニケーションづくりの一步となる、あいさつ運動に地域や家庭と連携しながら取り組む。

地域清掃や幼稚園、保育園への訪問、老人ホームへの慰問などボランティア活動を行う。

##### 故郷を愛する心

総合学習の時間などで、地域の人を指導者（ゲストティーチャー）として招き地域の大人に地域のことを教えてもらう機会をつくる。

### 感動する心

目標に向かって仲間と協力し何度も練習を積み重ねることで、やり終えた達成感に感動するよう、運動会や音楽会などの学校行事に目標を持って取り組ませる。

### 自分の未来を切り拓く力

クラスや学年、学校目標を達成するために、仲間と励まし合いながら最後まで諦めずに粘り強く取り組むことの大切さを教えながら、自ら学び考え、行動する力を育てる。

#### (4) 地域の役割

##### (基本的な考え方)

地域は、子どもたちが豊かな心を育むために大切な場です。

体験の機会を提供し、同世代や異世代との交流を通して豊かな人間性や社会性の育成を図ることが重要です。

- さまざまな体験活動や学びの機会を提供します
  - ・ 地域に伝わる祭りや行事など、大人たちや年齢、性別の垣根を越えた子ども同士の交流の機会を提供します。
  - ・ スポーツやレクリエーションなど、年齢に応じた子どもと保護者との共同体験の機会を提供します。
  - ・ 自然体験、農業体験など、地域の環境を生かした体験活動を提供します。
  - ・ 歴史、文化や自然など、地域の魅力を発見する学習機会を提供します。
  - ・ 地域で目標を持って働く大人やさまざまな思いを持って活動している大人とふれ合う機会を提供します。
  - ・ 子どもたちに地域の歴史や文化などを教えることのできる地域の人材を育成するため、大人にも学習の機会を提供します。
  - ・ 家庭教育学級など保護者の学びの機会を提供する。
  
- 安全で安心な地域をつくります
  - ・ あいさつ運動、防犯活動、スクールガードなどを行い、地域の子どもたちを温かく見守り育てていきます。
  - ・ 子どもの居場所づくりや放課後活動など、子どもたちを見守る活動に参加します。
  
- 学校を支援します
  - ・ 学校の方針を理解し目標を共有しながら、学校行事や地域を生かした教育活動の支援を行います。
  
- 各企業や事業所、NPO法人などは、地域社会への理解を深め地域貢献活動を行います
  - ・ 専門性を生かし職場体験などの教育活動に協力します。
  - ・ 将来を担う子どもたちに働くことの意義を伝えます。
  - ・ 地域行事、PTA活動などへ社員らが参加する意義を理解し奨励します。

## 子どもたちの目指す姿のために地域ができることの事例

### 命を大切にする心

学校で行われる植物の栽培、収穫活動などに協力し、命を大切にする心を育む。

### 人と関わる力

子どもとあいさつを交わしたり、「愛の一声」(※)をかけたりにながら、子どもたちを見守り、地域の大人に守られているという安心感を持たせる。

### 故郷を愛する心

地域の自然や歴史などについて学ぶ講座の開催や、郷土芸能の伝承活動に取り組む。

地域の清掃活動など、美しい地域づくりに取り組む。

### 感動する心

地区の文化祭などで芸術や文化にふれる機会や、地域の景観に触れる機会をつくる。

地域行事などで大人が地域のために力を合わせ、一所懸命に働く姿を見せる。

### 自分の未来を切り拓く力

球技大会などのスポーツ活動や宿泊体験、自然体験などの体験活動など、仲間とともに考え、最後までやり遂げる機会をつくる。

※愛の一声…地域の人々が子どもたちを温かく見守り声をかけること

## (5) 行政の役割

### (基本的な考え方)

家庭、学校、地域がそれぞれの役割を果たしながら、それぞれの枠を越えてこれまで以上に連携が有効に促進されるよう、情報の共有化及び人材育成などの推進を図ることが重要です。

- 各種支援を行います
  - ・ 学童保育所や放課後子ども教室などの子育て支援を行います。
  - ・ P T A活動や家庭教育などへの支援を行います。
  - ・ 自治組織や地域活動への支援を行います。
  - ・ 出前講座やボランティア登録制度などを活用した学校支援を行います。
  - ・ 芸術やスポーツに関する支援を行います。
  
- 家庭、学校、地域間の連携を促進します
  - ・ 広報やホームページを利用して活動を紹介し、情報の共有化を推進します。
  - ・ フォーラムを開催し、実践事例など新たな取り組みに活用できるような情報を提供します。
  - ・ 家庭、学校、地域が連携する際に連絡調整や活動を企画していく人材を育成します。
  - ・ 家庭、学校、地域の連携によるさまざまな教育活動を促進します。
  - ・ 各企業や事業所、N P O法人との連携を促進し共通理解を図ります。
  
- 体験学習の機会を提供します
  - ・ 図書館や博物館などの社会教育施設で体験学習の機会を提供します。
  - ・ 生涯学習に関する情報の収集及び提供などにより、学校や地域での体験学習を支援します。

## 子どもたちの目指す姿のために行政ができることの事例

### 命を大切にする心

食の大切さ、安全安心な食べ物を選択する力、感謝と思いやりの心を育む食育の推進を図る。

相手を思いやる気持ちや自分の言動に責任を持つことを伝えるため、情報モラルについての情報提供、講演会などを開催する。

### 人と関わる力

北上っ子5つのやくそくの「自分から明るく笑顔であいさつ」をはじめとしたあいさつ運動の推進を図る。

### 故郷を愛する心

地域の歴史や文化などを知り、子どもたちに伝えていく人材を育成するため、地域と連携しながら地域の歴史学などの講座を開催する。

### 感動する心

感性を養い、創造力を豊かにし、心や体の成長を促す芸術、文化、スポーツ、自然活動などの支援をする。

北上っ子読書活動推進プランに基づいた、読書の推進を図る。

### 自分の未来を切り拓く力

学び続ける意欲を持った人材を育成するため、生涯学習の推進を図る。

さまざまな生涯学習活動やボランティア活動のネットワークづくりを推進する。

## 2 子どもたちの成長につながる活動の継続と共有

市内各地域で「子どもと地域住民が関わる活動（世代間交流等）」、「子ども主体の地域活動（奉仕活動等）」や「子どものために地域住民が行う見守り活動（スクールガード等）」など、さまざまな活動が実施されています。その活動数は千件を超え（平成25年6月北上市まちづくり部生涯学習文化課調査）地域教育力の原動力となっています。

これらの活動を継続するとともに、活動の成果を共有していくことで、今後さらに地域教育力の向上を推進します。

### 北上市内における「地域教育力向上」に関する活動調査結果より

（平成25年6月 北上市まちづくり部生涯学習文化課調べ）

#### (1) 心と身体の健康に関する活動

地区運動会をはじめ、球技大会などスポーツ活動も盛んです。中には、小学校の運動会と地区の運動会を合同で開催しているところもあります。

あいさつ運動も、すべての小中学校で取り組んでいます。校内の取り組みだけでなく、地域住民やPTAによるあいさつ運動や、地区であいさつの標語を募集し、大人も一緒に意識の醸成を図るなど、工夫を凝らした活動が行われています。

また、平成18年度まで展開していた北上っ子健全育成事業を継続し運営する中学校区の教育実践協議会や小学校区、地区交流センター単位で組織する青少年健全育成組織による、子どもたちの健全育成に関する取り組みが行われています。構成メンバーは、区長、主任児童委員、民生児童委員、青少年補導委員、青少年健全育成委員、子ども会役員、PTA、老人クラブ、警察、学校、企業など、子どもたちの生活に関わる人たちで共通理解を図りながら活動しています。

#### (2) 安全安心に関する活動

小学生の登下校時を見守る活動（スクールガードなど）がすべての小学校区で行われています。老人クラブが行う地域もあり、その活動は年200回を超える例もあります。

#### (3) 文化活動に関する活動

市内には多数の郷土芸能があります。保存会の指導により、学校の運動会のアトラクションとして披露されるなど、子どもたちへも確実に受け継がれています。

また、中学生が小学生へ指導するのが習わしとなっている団体もあり、年齢の垣根を越えた子ども同士の交流のきっかけにもなっています。



(4) コミュニティに関する活動

老人クラブと子ども会の交流活動や子どもたちの老人福祉施設への慰問、年中行事を通じた世代間交流が数多く行われています。中には、20年以上前から行われている地域もあり、継続的な地域の教育力をうかがい知ることができます。

また、市の事業として行っている市内3か所の放課後子ども教室以外にも、全地区交流センターで行う少年少女学級で、さまざまな体験や交流活動が行われています。

(5) 学習指導、読書に関する活動

地域住民やPTAによる学校支援として、小学校、中学校の各校に学校図書ボランティアが組織され本の読み聞かせや補修活動などを行っています。

また、小学校の中には、地域の有志ボランティアによる、水泳、毛筆、家庭科（ミシン等）の指導や、退職した教員による放課後の学習指導などが行われています。

(6) 自然環境に関する活動

清掃活動や奉仕活動が活発で、地区毎に清掃活動が行われています。平成24年度は125行政区中、58行政区（46.4%）が子どもと一緒に活動しました。また、高齢者など要援護世帯の自宅の清掃活動（ハウスクリーニング）や雪かきの活動も行われていて、地域のお年寄りや障がいを持った人との交流にもなっています。

○分類別活動数（延べ数・平成24年度）

平成25年6月まちづくり部生涯学習文化課調査

心と身体の健康	安全安心	文化活動	コミュニティ	学習指導・読書	自然環境
スポーツ活動（106）	交通安全（70）	歴史・地元学習（5）	世代間・異年齢交流（172）	学習指導、勉強会（9）	環境学習（4）
健全育成（36）	防犯（7）	郷土芸能（74）	祭事（55）	読書（7）	景観学習（5）
健康（4）	安全マップ（1）	文化祭・文化活動（28）	地区イベント（19）		地域マップ（1）
食育（5）	消防・防災（36）		季節行事（191）		清掃活動・奉仕活動（161）
			子どもの居場所（18）		農業体験（13）
※活動件数はさらに精査します					自然体験（12）

※調査は、幼稚園、保育園、小学校、中学校への照会と16地区交流センター・自治公民館のほか市内各課が担当する各種団体活動報告書からの収集によるものです。

## VI 北上市全体に広がる取り組みに向けて

### 1 行動計画の策定

北上市では、平成4年度から地域の児童生徒の健全育成を目的に、中学校区教育推進運動の事業が展開されましたが、その運動を見直し充実させて平成13年度から18年度まで「北上っ子健全育成事業」を行いました。この事業では、地域が一体となったあいさつ運動や奉仕活動、地域見守り隊などの実践運動を展開し、地域全体で子どもを育てていこうとする意識を高めてきました。

今後は、これまでの経過を踏まえ、さらに地域教育力を向上させるため、平成26年度は具体的に事業を実施していくための行動計画を策定し、27年度から家庭、学校、地域が連携し地域社会が一体となって取り組む市民運動として活動を展開してまいります。

### 2 推進体制

本基本計画に則した行動計画を効率的かつ着実に実施するため（仮称）北上市地域教育力向上推進会議を設置し、取り組みの成果の点検と検証を行います。さらに、社会教育委員と連携し計画の進行管理と必要に応じた見直しを適宜行います。

#### ○ 地域教育力向上に向けた今後の計画

<p style="text-align: center;"><b>行動計画策定</b></p> <p style="text-align: center;">地域教育力を向上させるため、実践的な活動の展開を北上市全体に広げていく。</p>	<p style="text-align: center;"><b>啓発・交流の機会</b></p> <p style="text-align: center;">実践者・関係者の交流の機会を設け、情報を共有していき、更なる取り組みに役立ててもらおう。</p>	<p style="text-align: center;"><b>具体的取り組み</b></p> <p style="text-align: center;">地域社会全体の意識を高めながら活動の推進を図る。</p>
26年度		
<p>○行動計画策定 検討委員会開催 地域教育力向上基本計画に基づき、行動計画を作成</p>	<p>○フォーラム開催 地域教育力についての情報を発信 事例発表、講演会など</p>	<p>○子どもたちの成長につながる活動 各地域・学校などで現在取り組まれている活動を大切に、そのそれぞれの活動を把握し課題を検証しながら進めていく ○「北上っ子5つのやくそく」推進 ○子どもの読書活動推進(北上っ子読書活動推進プランによる)</p>
27年度		
<p>○行動計画の進捗管理 推進会議を設置し、取り組みの成果の点検と検証を行う。さらに、社会教育委員と連携し計画の進行管理と必要に応じた見直しを適宜行う</p>	<p>○フォーラム開催(継続) フォーラムを継続する中で、異なる主体で行われているが連携した方が良いと思われる事例がある場合、生涯学習文化課が窓口となって連携をコーディネートしていく</p>	<p>○行動計画に基づいた市民運動の展開 ○子どもたちの成長につながる活動(継続) ○「北上っ子5つのやくそく」推進(継続) ○子どもの読書活動推進(継続)</p>